

令和2年度第3回総合教育会議 議事録

1. 開会日時 令和3年2月25日(火) 14時～15時10分
2. 会議場 松浦市中央公民館 研修室1・2
3. 出席者

松浦市長	友田吉泰	
松浦市教育委員会教育長	今西誠司	
〃	教育委員	平原章宏、前田弘子、金井田秀規、氏山智美
〔事務局〕	教育総務課	教育次長兼課長 石黒修子、課長補佐 反田隆二
	学校教育課	教育次長兼課長 宮島哲郎
	生涯学習課	課長 松永秀樹
	文化財課	課長 内野 義
4. 内容
 - (1) 市長挨拶
 - (2) 教育長挨拶
 - (3) 協議
 - ① 小中学生の部活動と社会体育・文化活動について
5. 傍聴人 無
6. 発言の詳細 以下のとおり

【発言者】	【内 容】
教育総務課長	<p>それでは只今から令和2年度第3回松浦市総合教育会議を開会いたします。初めに友田市長がご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>皆さんこんにちは。日頃から教育委員の皆様方には市政推進、子ども達の健やかな教育、生涯学習全般にわたってご指導いただいておりますことお力添えをいただいておりますことにつきましてこの場をお借りしてお礼を申し上げます。現在、市の教育行政という意味では鷹島小中学校の建設がいよいよ来月中に完了するということで、先日は鷹島小学校旧校舎のお別れ会が開催されておりました、一通り市内の教育施設における耐震化が終了するという、また併せて、一昨年から空調設備の設置なども進んできましたし、またコロナの関係で加えて整備できたということもありまして、教育施設という意味では充実してきていると認識しております。また、GIGAスクール推進1人1台端末整備において3分の2の導入準備が進んでおりますけれども、残りの3分の1の整備についても、コロナ対策の国交付金を充てて、来月5日開催の市議会に補正予算の中に計上する予定となっております。これをお認めいただきますと、全ての児童生徒への配置が完了するというところでありますけれども、今日の新聞社説にありましたけれども、機器の整備よりも課題を抽出してやるべきではないか、ということもあります。モノをいかに有効に活用して子ども達の健やかな成長に結びつけるかということについては、引き続き皆様方にもご指導をいただきたいと思っております。</p> <p>今日は皆様方にご協議いただきたい議題は、私の方から事務局に、こういったテーマでぜひ教育委員の皆様方のご意見等をいただきたい、ということでお示したものでございます。後ほど詳しい思いな</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>ど述べさせていただきますけども、これは以前から市議会の中でもいろんなご議論がありました、社会体育でも活躍している子ども達を何か支援できないかという声ですとか、小学校の時やっていた社会体育が中学生になってできないので域外に転出をされるといったケースもあり、市にとっても少子化の中でそういった子ども達をどう伸ばしていくか、あるいは地域に残していくか、といったことも重要になりますので、ぜひ皆様方のご意見を賜りたいということでございます。</p> <p>どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、今西教育長にご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>教育委員を代表しまして、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、本年度3回目となる総合教育会議を開催していただき、誠にありがとうございます。また、日頃より教育関係の施策にご理解とご支援を賜り、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>今年度もあと1月余りになりましたが、教育委員会の取組の中で特に印象深いこととして、市長様からもありましたように、鷹島小中学校の新校舎が完成して、中学3年生も1か月間、新しい校舎で学ぶことができ本当に喜んでいただいていたということでございましたし、小学生も4月の始業式、入学式を心待ちにしているのではないかと思います。</p> <p>全ての学校で空調設備も整い、どんなに暑い夏でも大丈夫ではないだろうかと思っているところです。</p> <p>また、鷹島海底遺跡につきましても、礎の引き上げ、クラウドファンディングが1000万円の目標額を達成しまして、全国に鷹島海底遺跡の価値を知らせることができた、またいろんな全国からの協力者を得ることができた、これも大きな仕事であったと思います。また、なぎなたのアオナツプロジェクトは全国の高校生から感謝の言葉をたくさんいただきました。監督も本当に喜んでいましたし、少しでも力になれたかと私も嬉しく思います。</p> <p>最後に、調川公民館が完成して、私個人も利用していますが非常に使いやすくなった印象で、地域の方の喜びの声も聞きます。友田市長のご尽力に対して心から感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>今日は、文化・スポーツの面で頑張っている子ども達に対する支援についての意見交換になりますけども、松浦市の未来を担う子ども達のために有意義な意見が交換できればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>ありがとうございました。それではこれから協議に移らせていただきますが、本日の協議事項は「小中学生の部活動と社会体育・文化活動について」というテーマで委員の皆様のご意見を承りたいと存じております。議事進行につきましては、松浦市総合教育会議運営要綱第5条の規定により友田市長にお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、さっそく協議事項に入らせていただきます。テーマについては「小中学生の部活動と社会体育・文化活動について」というこ</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>とでございます。冒頭の挨拶でも申し述べましたとおり、市内の子どもが目覚ましい活躍をしております、こういったものについてどのように今後支援をするべきなのか、と思っております。やはり子ども達が健やかに成長していく上で、学業はもとより、こういったスポーツや文化に触れていくということも大きな成長に繋がっていくと思っておりますし、既に今、直近で言えば、米須玲音君が非常に脚光を浴びてテレビでも活躍が報じられていますが、志佐小学校卒業で松浦市出身なのに、松浦市の一字も出ないという状況でありまして、非常に残念だなと思っております中で、松浦市バスケットボール協会の皆様方が松浦高校のフェンスに志佐小学校出身ということで横断幕を掲げおられて、そこで初めて知った方もあったと思っておりますし、市報でも活躍を知らせているところですが、ああいった活躍を見て、これから自分もそういうふう頑張ろうと思う子ども達がこれから出てくるだろうと思われるときに、我々がどのように対応していけばいいのか、ということをお聞きしたいと思っております。</p> <p>まずは、資料を準備していただいておりますので、情報を共有するという上で、資料の説明をお願いします。</p> <p>学校教育課で準備しております資料につきましてご説明いたします。(議事録末尾の別紙1を参照)</p> <p>1 頁目、「市内中学校の部活動及び社会体育・文化活動について」をご覧ください。</p> <p>各学校に設置してあります部活動、また最近休部・廃部になった部活動、また子ども達が社会体育に入っている活動と活動している場所、あと校長から聞き取った課題、といった内容をまとめているところです。各学校別になってはいますが、市内中学校で部活動が設置してある全種目を申しますと、陸上(男女)、軟式野球(男女)、剣道(男女)、ソフトテニス(男女)、卓球(男女)、バスケットボール(男女)、バレーボール(男女)、文化部としては吹奏楽部、美術部、ボランティア部などが設置してあるところでございます。</p> <p>ご覧のとおり、多様なスポーツをするようになってきたというのが最近の特徴であるのかなと思っております。硬式野球や柔道などについては過去にも入っていましたが、サッカーも急激に増えておりますし、バドミントンであるとかボクシング、こういう種目も出てきております。</p> <p>一例として、御厨中学校の課題の欄をご覧くださいますと、社会体育のバドミントン等の子ども達が他の大会、県大会の別の冠大会で優勝するとか素晴らしい成績を修めている場合は、松浦市の中体連の規定の中で、推薦出場により県中体連への参加ができるという規定がありますので、この子ども達も中体連県大会に出場できますが、その際、学校にはその種目の部活動を設定していないため、引率するための顧問がおらず、その時だけ顧問を決めて出す必要がある、といった課題を1点目として記載しております。同欄の2点目の課題は、硬式野球を行う子どもが増えてきておまして、その分、学校に設置してあります軟式野球部の減につながり、それにより御厨中では出場人数に足</p>
---------------	--

りず市内の他校との合同部活動で大会に出なければならない場合も出てきている、特に3年生が抜けた後のチームである新人大会ではそういう状況に追い込まれているという状況です。3点目ですが、柔道の個人戦で優勝している子どもが、例えばソフトテニスの県大会にペアでの出場を勝ち取ったとしてもそちらには入れず、規程上はペアとしての出場は可能であっても、同じ選手のペアでは出場できないという問題があるといったことを記載しています。

次の頁の今福中の欄ご覧いただきますと、生徒数減少の中で、社会体育に所属しているために部活動に所属できない、という課題の記載があります。このことにつきましては、だいたい市内の学校は、社会体育に所属しておりまして、例えば社会体育が週3日であれば週2日は学校の中で体を鍛える、それが社会体育にも繋がるという話をしながら、例えば他の部活動に所属したり、過去の事例で言うと社会体育の柔道で優勝した生徒も陸上部に入っていたりとか、そういうふうな状況なのですが、この記載の例では、社会体育に週5日全部行っている子ども達がいる、そういった子ども達について相談があったときに学校の部活動に参加するのは難しいということで認めたという経緯がありまして、そういった状況になっているものです。

福島中でも、社会体育で硬式野球をしている生徒が軟式野球には入部していないので中総体での取り扱いについて困ることもある、と記載されています。私が過去に今福中にいた頃でも、軟式野球が7人しかおらず、硬式野球の生徒に手伝いに入れないうか相談したこともありましたが、いちど中体連に出場してしまうと、他の連盟の大会に登録したとみなされて、硬式野球の試合には出られなくなってしまうといったいろんな制限がありましてこのような記載となっているところがございます。

調川中や今福中、福島中、鷹島中のような小規模校であっても社会体育に所属している子ども達が増えてきておりまして、そのことが学校の部活動の存続に影響しているといった内容です。

次の3、4頁目をご覧ください。これは市内小学校の社会体育の参加者一覧ということで、学校別に市内及び市外の社会体育に入っている者の種目別人数と合計をまとめたものです。このとおり社会体育に入っている子ども達はかなりいるということがわかります。先ほどの中学校と同様に、活動している種目も多種にわたってきていると思います。ボクシングもありますし、キックボクシング、少林寺拳法といった種目もあります。水泳につきましては一般の水泳教室などを除いた競技コースのみここには記載しておりますが、松浦市の子ども達はここでも多く活躍しているところです。

先ほど市長が話された小学校の社会体育からの継続の件で、一番気になるのが、議会でも取り上げられたサッカーでございまして、市内の学校で合計しますと、野球をしている子どもは市内で50人、市外で1人、ソフトボールは市内で34人、合計しても85人ですが、サッカーにつきましては市内で99人、市外で8人、合計107人ということで、過去、松浦市はどちらかというと野球・ソフトボールが盛んでしたが、現在はサッカーが逆転しているという現状となっております。

	<p>す。このサッカーが市内中学校の部活動に無いというのが今の課題であるだろうと思っているところですが、仮にサッカー部ができたとした場合にこの107人がサッカー部に入るとなると、その他の部活動がどうなるのか、という心配も出てくるように思います。</p> <p>5頁目については、後ほど説明させていただきます。</p> <p>以上が、市内小中学校の現状についての説明です。</p>
市長	<p>ただいま説明があった小中学校の部活動及び社会体育・文化活動について、皆様からご質問等あればどうぞ。</p>
教育長	<p>部活動への全員加入の状況については、現状どうなっていますか。</p>
学校教育課長	<p>はっきりとは把握しておりませんが、基本的には松浦市では生徒全員が部活動に参加の方針ですが、以前そのように方針変更を出されて以降も、校長先生の考えなどもあり、社会体育に参加している子どもを無理して学校部活動に参加させるような強制はされていないのではないかと思います。</p>
教育長	<p>例えばサッカーをする生徒は学校部活動に所属しなくても良い、そのように容認されるなら、その子は好きなサッカーが出来ることになるのですが、学校自体ではそれだけの人数が減ってしまうとおそらく成立しない、今後ますます少人数化してしまうことになりそうです。</p>
学校教育課長	<p>今の教育長のお話に関連して説明を付け加えますと、例えば御厨中にもサッカー5人が佐世保に行っていますが、陸上部にも入ったりしながら駅伝でも活躍などしていますので、逆にサッカーの競技力向上のために陸上をしているという、上手に学校部活動を利用している面もあります。メリットとデメリット、どちらの部分もあるとお考えいただければと思います。</p>
市長	<p>いかがでしょうか、皆様のほうから。</p>
金井田委員	<p>先日、教育委員会定例会後の話の中で、こういった形で種目ごとに少人数バラバラに、例えば鷹島では佐賀のチームに所属して、松浦代表ではないという形になっていますので、旧松浦市の中で、例えばサッカーの学校、野球の学校、陸上の学校といった形で連携して部を作っていたら、子ども達は集まるのではないかという話をさせていただきまして、少し話は離れますが、松浦市陸上競技場とサッカースタジアムを作っていたら、という話までさせていただきました。</p>
市長	<p>そうですね。結局、義務教育の中でどこまで絞り込んでいくのかというところだろう、というのがあって、確かに子ども達の成長にとってスポーツや文化が大切ですのでということで皆様にご意見をお聞きしているのですが、メインとしてはやはり、あくまでも学校での学業を</p>

	<p>しっかりやって、そして併せて体を鍛えて心を磨く、という意味での文化・スポーツだろうと思っていまして、県大会や上位大会で活躍してくれることは大変素晴らしいのですが、勝利至上主義になってはいけないのではないかと、というところはあると思います。本当に才能を伸ばしたいという子ども達は、高校で、まさにスポーツ留学をするような子ども達もいるわけですが、少なくとも松浦市として子ども達の義務教育をやる上で、そこまで特化するのはどうだろうか、という思いはあります。しかし、実際に金井田委員がおっしゃるとおり、佐賀県のチームに行く、例えば玄海ボーイズ（硬式野球ジュニア）が先日ご挨拶に来庁してくれましたけども、そこには鷹島のみならず福島からも志佐地区からも子ども達が参加されている、ということも考えると、あるいは野球については、野球場を市内に作りましたので、そういう子ども達の全国大会に通じるようなクラブチームが市内に出来れば、そこまで子ども達に負担をかけずにできるのではないかと、とも思いました。しかし仮に旧松浦地域に出来たら鷹島や福島から来るのも、それはそれでまた大変ですよ。</p>
金井田委員	<p>松浦ばかりではないでしょうが、例えばサッカーをするために中学校を転校する生徒も実際にいますよね。そこ子ども達はたぶん、松浦高校には進学せず、長崎や佐世保に行くと思います。佐賀県に野球にいつている子どもは佐賀の学校に行くかもしれませんし、松浦高校に行く子は少なくなるとは思いますよね。話がずれて来るのですが、松浦を上げていくためにはと、というところを思うと、やはり中心は志佐である必要があるのではないかと。</p>
前田委員	<p>私も考えがまとまらないのですが、部活動は非常に、何と言いますか、一緒に、共に活動をする協働性だったり忍耐力だったり、目に見えないものを人間として得ることのできる場であるので、また人によっては居場所になるし、自分のプライド、これには人に負けないといった、そういうものを作り上げたりするところでもあるので、学業とは別に、非常に大事だと。体が無いと心も駄目になるし、心が出来ていく過程の中で体も出来ていくというところもあって、部活動というのは大事だと私は思っています。ですから、もしサッカーがこれほど多くなって、サッカーをぜひ、ということになった場合は、今後10年くらいしたら、私の想像ですけども、旧松浦は一つの中学校ぐらいの規模になるのではないかと推測しますが、その間は、金井田委員さんがおっしゃったように、種目ごとの拠点校みたいな感じでどこかに作ってサッカーがやれたらいいな、とは思っています。ただし、人数がこれだけたくさんありますから、そうしたときに他の部活が出来なくなる可能性も、と試してみたりもするところです。</p>
市長	<p>いま皆様にもご議論いただくにあたり、教育委員会で今後令和6年まで取り組む予定の学校適正配置の課題もありまして、小学校での社会体育から中学校でそれをどうするかという議論は、最終的には、適正配置の問題にも結びついてくるのかなと思っています。学校の規模</p>

	<p>を大きくすれば、たぶんいろんな選択肢は自ずと増えてくると思いますし、例えばスポーツのみならず、前回の議会では、中学になったら吹奏楽部をしたいが自分の行く学校には無いので、部活動だけその学校に行っても出来ないか、というお尋ねがありましたので、学校教育課からの答弁でしたが、その移動時の安全性などを考えると、部活動だけ他の学校に行くということは出来ない、とお答えしました。結果的にどうするかといえば、今のルール上では引越すしかない、と。このあたりのルールと先ほどの拠点校を作ってその学校でサッカーをやりたいという時、仮に、今福中学校はサッカーができるようになります、となったときに志佐とか御厨からぞろっとそちらに行ってしまうというのはですね、それを認めると、自分はできればこの学校に行きたいという要望を、部活動だけでなく全て聞かなければならなくなってしまうのでは、と。つまり、上志佐小学校に特別転入学制度がありますが、それはあくまでも志佐小学校区からの一方通行ですが、今の話からするとその逆も認めるという話になって、小さな学校はますます小さくなっていく、という論点もあるように思います。</p> <p>きっと今後、保護者の皆さんと適正配置の話をする、この部活動の問題も大きなテーマになるのだらうと思います。クラス替えを経験させえあげたいという声ももちろんあるでしょうし、やっぱり子どもがやりたい部活動をさせてあげたい、だらうと。</p> <p>また、前田委員がおっしゃるように、子ども達にとっても、このスポーツなら自分がある、球技はだめだけれどもこの競技ならば、だとか、いろいろある中で、そのスポーツが無いばかりに機会を失う子どもがいるのなら、やっぱり何とかしてあげなければ、とは思いますが。</p> <p>なかなか難しいですけども、いま議論になっている、小学校で社会体育をやっている、そして中学校にその部活動が無い、そういった子ども達のことについて、学校としてそれはすべて認めているということなのではないでしょうか。そのあたりについて少し説明していただければと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>社会体育に入っている子どもをについて、入ることを阻害するようなことは現段階ではしていないと思います。その保護者の意見を聞いた上で、全員部活動としている学校であれば、社会体育の活動が無い日だけでも部活動に入ってくれませんか、という形にしております。そして、大会参加など、どちらを優先するか、といったことあたりが学校の考え方で違って来る場合があり、団体で出る種目に入っている子どもであればそちらを優先してもらえないか、というお願いをしている、特に中体連が近くなって社会体育と日程が重なった場合には、学校を優先してもらえないか、といった話をされているだらうと思います。いずれにせよ、柔軟に対応するという原則にしております。</p>
<p>市長</p>	<p>参加については、学校側の配慮としてはそういうふうになっている、ということですね。皆さんの方から何かご意見はありませんか。</p>
<p>平原委員</p>	<p>私自身も前田委員がおっしゃったように、年齢的なこともあるかも</p>

	<p>れませんが、中学校での部活動必須的なものは非常に意義があるのではないかと思っております。ただ、時代の流れでいろんなものがある中、そうは言いながらも、実際に部活に無いから社会体育で頑張りたい、という気持ちもくみ取っていただきたいという思いです。</p> <p>また、まだ箱物よりは支援だろうと思います。サッカー場が出来るから、ではなく、まずやろうという機運があつて、どこかの地区に集まって活動を始める、そこに初めてお手伝いできないだろうか、と。学校もそうですが行政も、まとまった活動があればそこに場を提供するというスタンスにならざるを得ないような気がします。</p> <p>実際にお金がかかる競技もあるでしょうし、そこに行政として頑張っている子をもっと応援してあげたい、そういうシステム、バックアップ・金銭面の提供であったり、指導者の確保であったり、そこでお手伝いできるようなことがあれば良いなと思います。</p>
市長	<p>全国大会に行くような活躍をしている子というのは、基本的には保護者の方も非常に熱心で、その子の活動のために犠牲になってされていますよね。そこまでされる保護者がいらっしゃるからこそ、子ども達もできているのだと思います。例えば、先ほどの玄海ボーイズの皆さんは、志佐からだ往復2時間以上かかり、毎日練習して帰宅してご飯をたべて、相当、子ども達にも負荷がかかっているのではないかと思います。その辺の負荷というのが学校で影響していることは無いのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>私が所属していた学校で佐世保の硬式野球に通っていた生徒がいましたが、学校が終わってから軽い食事をして練習に行き、午後9時過ぎに帰宅して、勉強するとなると12時を過ぎてしまう状況で、子どもが疲れていると感じることもあり。学校に多少の影響を与えている部分はあると感じたことはあります。</p>
市長	<p>そのあたりは、本人もそうだし、家族も大きな目標に向かうためにしょうがない、というところもあるのでしょうか。</p>
前田委員	<p>私も、社会体育に参加している、ある子どもを朝の交通安全指導で見かけたりしていましたが、小学校の頃はやんちゃで挨拶もしていなかったのが、社会体育に通うようになってからは大きな声でして、落ち着いた、というようなことは、学習面ではありませんが、感じました。こういう事もあるだろうと思います。</p>
氏山委員	<p>サッカーがこれだけ増えているということは、今後無視できない状況だと思います。でも各中学校にサッカー部を作るというのは現状では難しく、サッカーゴールなど施設の整備も大変だと思います。上を目指す子どもは、野球もそうですが、やはり他市のクラブチームに行くのだらうと思います。でも、どうしても負担面で無理だというご家庭もあるとおもうので、松浦市に一つサッカー部を作ってあげると、例えば志佐など、通える子もいるだろうし、市内だったら送迎も可能</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>かと思えます。やはり小学生からやっている子ども達など、中総体に出たいだろうと思えます。そのようなことを考えると、市内から中総体に出られるような1チームだけでも作ってあげたいと思えます。</p> <p>その件は、今のところは壁がありまして、志佐中学校にサッカー一部を作って、御厨や調川の子も練習に参加して出場、というのは今の中体連の出場規定では出来ず、学校単独で部活動を作った上で人数が足りない場合は合同で出ることができます。だから、今のご意見のような子ども救済しようとするなら、それぞれの学校に部活動を作った上で、それぞれの学校の人数が11人に満たないから合同チームをつくる、ということであれば出場できます。もし人数が足りている学校であれば合同チームには入れない、という難しいルールがあります。そのあたりについて、文科省としても柔軟にするよう話をされていますが、今のところ、県の中体連の規定ではそういった見直しは検討されていないそうです。</p>
<p>平原委員</p>	<p>極端な話をするなら、書類上といいますが、それぞれの学校に部があって、一緒に練習などするのであれば問題は無くなるということですね。</p> <p>それとは関係無い話になりますが、他所の学校の自分の希望する部活があるからそちらに行きたい、というのが駄目だというのは今の時代的には合わないのかも、ただ責任のこともあると思いますが、もうちょっと柔軟性があってもいいような、軟式野球で中体連の方で登録したら社会体育の方で弾かれてしまうなどは、ちょっと杓子定規過ぎて、子ども達の夢を潰してしまっているような気がします。</p>
<p>市長</p>	<p>そうですね。しかしこれだけ中学校で社会体育に行っている子ども達がいるとなると、そもそも少子化なのに、それぞれの学校の部活動が成り立たなくなりますよね。これが現実でしょうけども、少なくとも我々が小さい頃はあまり社会体育に参加をするというのは、余程の才能など無い限りは無かったので、あまり分からない現状ですね。</p>
<p>金井田委員</p>	<p>その頃はたぶん、鷹島でもソフトボールだけでも2チームはありましたので、他の所に行かなくても良く、県大会にも出場できていました。今は少ないから、だから弱いし、強いチームに、ということで社会体育に行くわけですね。</p>
<p>市長</p>	<p>そうですね。さっきのサッカーの話でいくと、市内にもクラブチームが出来ましたよね。こちらには中学生は入っていますでしょうか。市内でサッカーをしている中学生は佐世保に行っている感じですが。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>市内クラブチームに中学生が入ってるのか今のところ聞いていませんが、4月から志佐中校区に中学生を対象とするクラブを立ち上げる旨のチラシが配られているようですので、その子ども達も入れるようになると思います。ですので、志佐中学校ではその事への対応が必</p>

<p>市長</p>	<p>要になってくるのではないかと思います。</p> <p>部活動にとっては難しい問題ですよね。</p>
<p>教育長</p>	<p>悩ましい問題です。ひとつは市長のおっしゃった中学校の統合ということで、松浦未来会議でも、好きな部活動が出来るように旧松浦は統合した方が良いという意見もたくさんありましたし、それは実際、現実的なことだと思います。福島・鷹島には申し訳ないのですが。それで、志佐であれば旧松浦市域なら短時間で来ることが出来るという地理的なものがあります。そこではサッカー部も作れますし、もし志佐に作るのであれば松浦高校との連携が強化されて、松高でも新たな部活を設置しようという考えもありますので、それはやはりひとつの方向性であり、今後の学校適正配置の検討会議の中でも大きな議題になろうかと思えます。ただし、現在のところでは、部活動は学校単位です。学校の中で部活動を通じて励みあうし心の繋がりも出来るし、全てがそれで動いている、壮行会もするし結果報告会もする、そのような中で複数の学校でやっていくというのは、なかなか難しいという状況もあります。ですから今のところ、学校で担えなければ社会体育で、志佐にサッカークラブが出来ればそこに集まりますので、そうすると学校の方なかなか成り立たない、というのが目の前の現実ですし、校長としては頭の痛いところです。</p>
<p>市長</p>	<p>多分、この短時間で結論を出すことは難しいと思えますので、そういった課題があるのだという共有をできればと思っていますし、今後の適正配置の検討の中でも、きっとこういうこともひとつの課題として出てくるでしょうし、現状では難しいということも良くわかりましたので、ひと区切りしたいと思えます。</p> <p>それでは次に、いま全国的な活躍をしている子ども達が、冒頭に申し上げた米須君のように松浦で育ち活躍している子ども達のことについて、報告いただけますでしょうか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>参考資料ということで、生涯学習課のほうでまとめました松浦市一覧表がお手元にありますのでご覧ください。(議事録末尾の別紙2を参照)</p> <p>令和2年度以前の3か年度分となっています。</p> <p>令和元年度・令和2年度につきましてはご存じの通りコロナの関係で大会中止や縮小されており、近年多くの大会がありましたのが30年度ですので、その年度からの内容を出しております。</p> <p>この資料は松浦市文化・スポーツ振興基金の補助金を申請していただいた分のみですので、これ以外にも把握していない子ども達の活躍もあるかと思えますが、平成30年度では県・九州・全国大会に(申請個人及び団体、小中高の部門、競技種目、それぞれの延べ数で)45件、令和元年度29件、令和2年度7件となっております。</p> <p>簡単ですが、以上です。</p>

市長	何かご質問等あればどうぞ。
学校教育課長	中体連での九州・全国大会出場者は先ほどの資料の最後の頁についておまして、特に平成30年度と令和元年度には多くの子ども達が出場しており、全国でも準優勝など素晴らしい活躍を見せてくれているような状況です。
市長	これだけの活躍があるんですね。 昨年度、社会体育についての、文化・スポーツ振興基金補助金の規定見直しをしたと思いますが。
生涯学習課長	平成31年3月に規則を見直し、令和元年度から一般部門の九州・全国大会出場を対象から無くし小中高のみとし、全国大会・九州大会の開催地までの距離等に応じそれに見合った金額に変更しました。また、市内で予選があり県大会に行く場合も対象としていたものを、離島開催の場合のみに変更しました。社会体育としての見直しは以上のとおりです。
市長	市内のクラブチームで、このように全国大会まで行ったという例は無いのでしょうか。松浦高校なぎなた部や陸上部などは市内ですが、それ以外に。
氏山委員	平成30年度の田代少年剣道クラブは、クラブチームとしての全国大会出場ですね。
市長	そうですね。
学校教育課長	鷹島中学校の平成30年度の九州大会に出た陸上については基本的には部活動ですが、小学校から社会体育としてされており、中体連では市内の大会に出ていますが、社会体育でもあります。あと、今は佐々町のスイミングクラブに所属して全国で活躍している子ども達は、松浦のスイミングが廃止されて佐々に移る以前から力を付けていたのだと思います。
市長	そういった子ども達に対して、市が現在行っているのは、文化・スポーツ基金で大会出場の際の費用を出すという事と、文化・スポーツ功労表彰をするというぐらいですよ。 今年度から、市でも新しく表彰制度を設けて、基本的に11月の第一日曜日くらいに表彰式をするように改め、昨年11月に初めて行いましたが、県のスポーツ分野の表彰でも、優秀な成績を上げた際の特別表彰が別にありますよね。だから、今後そういう全国で活躍した児童生徒の分を市スポーツ表彰に加えて、市の特別表彰として行う、というのはあるのかな、と思います。その規定をどうするのか、市長が特に認めるもの、とするのも曖昧ですから、具体的な規定が必要だろうと思います。

	<p>こういう児童生徒にどんなふうに支援ができるのか、そういった点について、少し皆さんのご意見をお聞かせいただければと思います。以前に議会でも、もっと応援しても良いのではないかという意見が出たこともありますので。また、そういうこともあり、先ほど生涯学習課長が報告したような規定の見直しにより、県内の分を無くした分、遠くに行く場合は従来よりも多く出せるようにしたものです。</p> <p>いずれにしても、限りある基金からの運用ですから、そういう子ども達がどんどん出てくると予算の確保も大変ですが、現在、いろんな寄附制度などもあり、特にふるさと納税など、どんなふうに使うかという事が重要になってきますので、その辺への活用があるだろうかと思えますけれども。</p> <p>松浦市から全国に羽ばたいていく子ども達への支援ということで、何かご意見はありますでしょうか。</p>
市長	<p>例えば、市報掲載での紹介などについてですが、今のところ、出場しますとか、その報告とか、市役所への表敬訪問時に写真を撮るなどして掲載していますが、他の自治体の広報誌などを見ていると、もう少し紙面を使って詳しく紹介をする、というものもあります。そういったことも含めて、お気づきの点などありましたらどうぞ。</p>
市長	<p>生涯学習課長から、先ほどの社会体育の中で、今後、全国レベルの活躍をしそうだという情報など、何かありますでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>大会自体が、ここ1・2年は開催の見通しが分かりませんので。</p>
学校教育課長	<p>ソフトテニスや卓球など、小学生あたりが結構、国の強化候補に挙がるような子どもがいるのではないかと、などといったという情報もあります。</p>
市長	<p>よく新聞のコラム記事に、例えば甲子園野球の優勝監督などが紹介されたりしますが、(同じように市報でも)全国レベルの活躍をした子にインタビューしてそういった記事を載せるのも良いのではないかと気がします。いま今後の活躍について聞きましたのは、クラブチームでボクシングをされてインターハイ全国二位になった選手に近況を去年お聞きしたところ、パリオリンピックを目指しているということでしたので、そういった松浦から育って全国で活躍するような選手やその家族に、故郷である松浦市がこんなふうに応援しているんだ、ということなどが伝われば、いろんな競技をやっている子ども達にも、自分も頑張ればこのように取り上げてもらえるじゃないか、といった励みにもなるかも、という思いがあります。</p> <p>これまでのご経験の中で、こういうものがあれば良かった、といったことは何かありませんでしょうか。</p>
平原委員	<p>市長が言われているように、市報への文化スポーツ功労賞などの掲載について、それぞれ頑張っている姿のワンシーンでも入れたり、市</p>

前田委員	<p>長表彰の特別賞であれば特集的な取り上げ方をしたり、などすれば、本人だけでなく家族や周囲の皆さんも、市報自体がもっと賑やかなものになりそうな気がします。</p> <p>市報については私も同じように思います。市報を読む市民の皆さんにとっても、知ることで嬉しくなりますし、自分の経験からも、小学生などが中学生のテニスを見て自分をそうになりたい、コーチしている先生を見て自分も先生になりたい、とか憧れや希望、夢を持つ気持ちがありましたので、特集を組んで、小さい子ども達にも報せてあげたら良いと思います。</p>
平原委員	<p>市報裏表紙の連載のように家族一緒のような。(賛同の声)</p> <p>読書活動推進の会議の家読関係の話の中で、どなたかが自分がこういう本を読んで面白かったといった話を市報に取り上げていただいたということで、そのようなものでも繋げていけば、大人がやると面白くないかも知れないので年代層等変えて振って紹介してもらえれば読書活動も盛んになるだろうか、という話がありました。</p>
教育長	<p>今、読書のおすすめの記事の件で、市長が最初にされ、私にも廻ってきていまして、お願いするかたがなかなか難しいというのがありますが、いまおっしゃったことは大変良いことだと思います。</p> <p>先ほどからの活躍を伝えるということについては、市報とかはもちろんなのですが、市長もご存じかと思いますが、他市のスポーツ施設等に全国大会で活躍している子の写真や大会出場の記録などが掲示してあり、松浦でも同じようにできないか、との要望を受け、文化会館や市役所等への掲示を検討したことがありました。そのような手段も今後は考えていければ、と思っています。</p>
市長	<p>文化会館のホワイエに掲示がありますが、あれはどういった基準でされたのでしょうか。</p>
教育長	<p>全国トップとか、世界大会出場だとか、そういった方々などですね。</p>
市長	<p>そうですね。確かに、先ほどの教育長のお話のようなご要望がありました。</p>
前田委員	<p>今の話で思いましたが、昔は学校にも学校でも活躍の記録が掲示してあってそれを見ていましたので、もしできれば、大きなものだけでも、そういう広報的なものでもあれば、目に触れる機会が増えて良いと思います。</p>
市長	<p>教育長がおっしゃったことについては、スポーツ分野など、文化会館の掲示を拡充するなどの表示ルールを作ってやっていくのが良いと思います。文化活動についても同様ですが、どんなふうに展示していくのか、という点に少し知恵がいるだろうと思います。</p>

<p>教育長</p>	<p>全国大会とかで頑張っている人たちの取り扱いについては、先ほど少し申し上げました、市の表彰規程とかの中でも今後考えたいと思いますし、市報の活用というところについては、私の方から担当課に、そういった方々を取り上げる特集ができないか提案したと思います。</p> <p>子ども達がこのように活躍するというのは非常に素晴らしいですし、今年、大崎高校の甲子園選抜出場で西海市が盛り上げているのと同じように、やはり地元から全国に行くとなれば地域が元気になりますので、ぜひ一緒になって応援できるような環境を作り上げていければと思います。</p> <p>その他の議題につきまして、皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>部活動への用具等支援のことにつきまして、楽器版ふるさと納税により、現在まで30点の楽器のご寄附が集まっています。御厨中、志佐中、福島中の吹奏楽部の子ども達にその楽器が行きあたり、少し足りない面もありますが、ほぼ充足し、必要なものが揃ったということで、本当に素晴らしい取組であり成果だと思っております。</p> <p>他の文化スポーツでも、剣道や野球など用具を揃えるだけでも保護者の負担の大きいものもありますし、遠征費などというものもありますが、遠征費に関しては今回、中体連補助金と別に九州・全国大会出場のための別枠の予算が新年度からできるということで有り難く思っております。</p> <p>そういった面で、保護者の実態を見ながら、出来る支援を今後考えて行きたいと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>楽器版ふるさと納税で全国から、制度以外の楽器寄附も集まり、担当部署が見つけてきた、良い制度だと思います。先日、この運営会社から来庁されて感想を聞かれましたので、非常に良い制度なので全国に広がってほしい、という話をさせていただきましたが、松浦市が一定数充足した後も他自治体が参加されてうまく廻れば良いと思います。寄附者の方から、大切にしたい楽器を使ってください、と言っただくと本当に有難いですし、子ども達も感謝の気持ちを育んでくれるだろうと思いました。</p>
<p>市長</p>	<p>その他について特に無ければ、事務局からの連絡事項をどうぞ。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>来年度の総合教育会議の日程ですが、次回、令和3年度第1回を5月頃に開催できたらと思っております。よろしく申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>他にありませんようでしたら、以上をもって令和2年度第3回総合教育会議を閉じさせていただきます。</p> <p>なかなか結論の出しにくい議題ではありましたが、それだけに課題についてしっかりと再認識させていただいた会議でした。</p> <p>ありがとうございました。</p>

別紙 1

市内中学校の部活動及び社会体育・文化活動について

学校名	部活動	休部・廃部になった部活動	社会体育	課 題
御厨中	<ul style="list-style-type: none"> ○バスケ(男) ○バレー(女) ○卓球(女) ○ソフトテニス(男女) ○剣道(男女) ○軟式野球(男女) ○陸上(男女) ○吹奏楽(男女) ○文化(男女) 	<ul style="list-style-type: none"> ○バスケ(女) ○卓球(男) ※今後も可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> ○サッカー(男5)佐世保 →<u>陸上部</u> ○硬式野球(男1)有田 →<u>陸上部</u> ○柔道(男1女2)平戸 →<u>ソフトテニス部</u> ○空手(男1)? →<u>軟式野球部</u> ○バドミントン(女2)佐世保 →<u>陸上部</u> ○ボクシング(女1)佐世保 →<u>ソフトテニス部</u> ○ダンス(女3)市内、佐世保 →<u>ソフトテニス部1、吹奏楽部2</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会体育(柔道、バドミントン)の県大会引率について、部活動ではないため、顧問がいないので、誰が引率するか課題である。 ○社会体育で硬式野球を行っている生徒がおり、部活動の軟式野球の部員数が少なく、出場人数に足りていない。合同部活動、校内でのレンタル等に対応している。 ○部活動のソフトテニスと社会体育の柔道を行っている生徒がおり、県大会には柔道で出場することを考えると、テニスでのペアの問題がある。
青島中	卓球(男女)	○なし	○なし	○特になし
志佐中	<ul style="list-style-type: none"> ○バレー(女) ○バスケ(男女) ○剣道(男女) ○軟式野球(男女) ○卓球(男女) ○ソフトテニス(男女) ○陸上(男女) ○吹奏楽(男女) ○美術(男女) ○ボランティア(男女) 	<ul style="list-style-type: none"> ○なし ※今後可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> ○空手(男1)市内 ○サッカー(男3)佐世保 ○水泳(女6)佐々 ○硬式野球(男2)玄海、佐世保 ※<u>部活動には全員入部させていない。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○全校部活動ということで、全員から部費を徴収しているが、社会体育で全く参加できないもしくは、ほぼ参加できない生徒の家庭から過去に徴収について意見があったようだ。現在は、徴収しないことにしている。 ○遠方で活動している場合、下校が帰りの会后ギリギリもしくは、帰りの会にかぶるようなときがあった。

令和2年度 市内小学校の社会体育参加者一覧

松浦市教育委員会

学校名	社会体育（市内）	社会体育（市外）	備 考
御厨小	○軟式野球（6） ○ソフトボール（20） ○バレーボール（8） ○サッカー（28） ○空手（9） ○剣道（10） ○バドミントン（3） ○卓球（1）	○水泳（競技コース6） ○空手（3） ○卓球（6）	市内（85） 市外（15）
星鹿小	○軟式野球（2） ○ソフトボール（9） ○バレーボール（8） ○サッカー（25） ○剣道（2） ○ダンス（2）	○ボクシング（2） ○卓球（4）	市内（49） 市外（6）
青島小	○サッカー（フットサル10）	○卓球（1）	市内（10） 市外（1）
志佐小	○軟式野球（14） ○バレーボール（16） ○バスケットボール（20） ○サッカー（27） ○テニス（1） ○空手（2） ○剣道（3） ○卓球（5）	○サッカー（5） ○ボクシング（1）	市内（88） 市外（6）
上志佐小	○ソフトボール（2） ○サッカー（3） ○剣道（2）	○テニス（1）	市内（7） 市外（1）

調川中	○バスケ(女) ○ソフトテニス(男) ○卓球(女) ○軟式野球(男女)	○なし	○硬式野球(男2)玄海、福岡糸島 →軟式野球部 ○水泳(男1女1)佐々 →(男)ソフトテニス部 (女)卓球	○特になし
今福中	○バレー(女) ○ソフトテニス(女) ○卓球(男) ○軟式野球(男女) ○ボランティア(男女)	○バレー(男) ○卓球(女)	○ボクシング(男1)伊万里 →ボランティア部 ○硬式野球(男1)西海 →ボランティア部 ○ダンス(女5)市内 →バレー3、ソフトテニス2	○生徒数が減少している中、社会体育に所属しているため、部活動に所属できず、人数不足になる。
福島中	○卓球(男女) ○軟式野球(男女) ○ソフトテニス(女) ○音楽(男女)	○バレー(女) ※6年生女子にバレーをしているものが多く、復活するかもしれない。(具体的な動きはない。)	○硬式野球(男1)玄海 →軟式野球部 ○バスケ(男1)山代 →卓球部 ○柔道(男1)伊万里 →音楽部 ○相撲(男1)田平 ※柔道と同一生徒 ○少林寺(男1)? →音楽部	○硬式野球を行っている生徒が、部活動の軟式野球には入部していないので、中総体時の取扱いについて困ることもある。
鷹島中	○バレー(男女) ○ソフトテニス(男女) ○文化ボランティア(男女)	○パソコン部(現文化ボランティア部に変更) ※R3年度よりバレー(男)が休部	○硬式野球(男2)玄海 ○剣道(男2)市内 ○陸上(男3女7)市内 ○水泳(女1)唐津 ※全員文化ボランティア部	○社会体育に参加している生徒は、全員文化ボランティア部に入部している。部費(部活動振興会費)については、文化ボランティア部に振り分けているが、半額は振興会に戻してもらっている。 ○陸上は、学校代表として参加する場合と社会体育として参加する場合があり、ユニフォームや施設使用など立ち位置が微妙である。

調川小	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技 (26) ○軟式野球 (7) ○ソフトボール (2) ○サッカー (6) ○空手 (3) 	○水泳 (競技コース1)	市内 (45) 市外 (0)
今福小	<ul style="list-style-type: none"> ○ソフトボール (1) ○バレーボール (1) ○空手 (7) ○ダンス (3) ○卓球 (1) ○少林寺拳法 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳 (競技コース6) ○ボクシング (4) 	市内 (14) 市外 (10)
福島養源小	<ul style="list-style-type: none"> ○軟式野球 (20) ○バレーボール (17) ○卓球 (2) ○少林寺拳法 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○バスケットボール (2) ○水泳 (競技コース3) ○空手 (5) ○柔道 (4) ○キックボクシング (1) 	市内 (40) 市外 (15)
鷹島小	<ul style="list-style-type: none"> ○軟式野球 (1) ○バレーボール (17) ○剣道 (13) 	<ul style="list-style-type: none"> ○サッカー (3) ○空手 (5) 	市内 (31) 市外 (5)

九州・全国大会出場者

	H29年度	H30年度	R元年度
御厨中	○九州大会【1名】 ・柔道 3年男子 大山 竜世		
青島中		○九州大会【1名】 ・陸上 3年男子 崎村 謙信	
志佐中	○九州大会【2名】 ・陸上 2年男子 吉浦 悠 ・水泳 1年女子 下条 樹希	○九州大会【4名】 ・陸上 3年男子 吉浦 悠 2年女子 吉浦 明希 ・水泳 2年女子 下条 樹希 1年女子 太田 紗彩 ○全国大会【1名】 ・水泳 1年女子 太田 紗彩	○九州大会【13名】 ・陸上 3年女子 吉浦 明希 ・水泳 3年女子 下条 樹希 2年女子 太田 紗彩 1年女子 太田 真彩 1年女子 松田 有加 ・ソフトテニス 3年男子 澤田 壮史 3年男子 田中 陽豊 3年男子 本山 聖人 3年男子 吉田 朝陽 3年男子 大宅 涼介 3年男子 森下 斗悟 3年男子 浜崎 達洋 3年男子 中山 晴希 ○全国大会【1名】 ・水泳 2年女子 太田 紗彩
調川中		○九州大会【1名】 ・水泳 1年男子 岩崎 基晴	○九州大会【2名】 ・水泳 2年男子 岩崎 基晴 1年女子 岩崎 瑞姫
今福中			
福島中			
鷹島中		○九州大会【1名】 ・陸上 3年男子 門 大喜	

別紙 2

平成30年度松浦市文化・スポーツ振興基金

区分	No.	申請者(選手名)	部門	種目	大会名
全国大会	1	長崎県選抜チーム	高校生	なぎなた	第59回都道府県対抗なぎなた大会
	2	田代少年剣道クラブ	中学生	剣道	第53回全国道場少年剣道大会
	3	県北ボクシングジム(野上昂生)	高校生	ボクシング	平成30年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会第72回全国高等学校ボクシング選手権大会
	4	松浦高校陸上部	高校生	陸上	第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
	5	松浦高校なぎなた部	高校生	なぎなた	第57回全国高等学校なぎなた選手権大会
	6	澤田州史(博史)	小学生	ソフトテニス	第35回全日本小学生ソフトテニス選手権大会
	7	太田信一郎(紗彩)	中学生	水泳	第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
	8	太田信一郎(諒)	中学生	水泳	きららカップ2019
	9	太田信一郎(真彩)	小学生	水泳	きららカップ2019
	10	吉浦彰二(悠)	中学生	陸上	第49回ジュニアオリンピックカップ陸上競技大会
	11	坂本秀樹(千城)	中学生	陸上	第49回ジュニアオリンピックカップ陸上競技大会
	12	小形千恵子(愛実)	中学生	空手	第56回全国空手道選手権大会
	13	松高陸上部	高校生	駅伝	第69回全国高等学校駅伝競走大会
	14	市山誠(結菜)	中学生	バレー	第32回JOC全国都道府県対抗中学バレーボール大会
	15	桑下康博(龍牙)	中学生	野球	第49回日本少年野球春季全国大会
	16	福浦万貴(蓮翔)	中学生	野球	第49回日本少年野球春季全国大会
	17	土井竜二(文太)	中学生	野球	2019年日本旅行カップ 第3回全日本選抜中学硬式野球大会
	18	山口律子(莉實)	中学生	野球	2019年日本旅行カップ 第3回全日本選抜中学硬式野球大会
	19	松浦美香(玄土)	中学生	野球	第49回日本少年野球春季全国大会
九州大会	1	県北ボクシングジム(野上昂生)	高校生	ボクシング	平成30年度全九州高等学校体育大会第72回全九州高等学校ボクシング競技大会
	2	松浦高校陸上部	高校生	陸上	第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北九州地区予選大会
	3	松浦高校なぎなた部	高校生	なぎなた	第24回全九州高等学校なぎなた競技大会
	4	新星(法知)バレーボールクラブ	小学生	バレー	第38回九州ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会
	5	松浦少年野球クラブ	小学生	野球	第21回九州学童軟式野球西都原大会
	6	太田信一郎(紗彩)	中学生	水泳	第50回九州ジュニア水泳競技大会
	7	太田信一郎(諒)	中学生	水泳	第50回九州ジュニア水泳競技大会
	8	太田信一郎(真彩)	小学生	水泳	第50回九州ジュニア水泳競技大会
	9	板谷宗人(音邑)	小学生	水泳	2018第50回九州ジュニア水泳競技大会
	10	渡邊太志(楓)	小学生	サッカー	ガールズエイト(U-12)サッカーフェスティバル第5回なでしこMIYAZAKIカップ
	11	下條瞳(岬希)	中学生	水泳	第39回九州カップ水泳競技大会
	12	高橋博志(勇貴)	中学生	バレー	平成30年度第29回全九州選抜高等学校バレーボール大会
	13	木谷エリ子(貴利斗)	中学生	バレー	平成30年度第29回全九州選抜高等学校バレーボール大会
	14	田中春美(陽豊)	中学生	ソフトテニス	第31回九州地区中学校選抜ソフトテニス大会
	15	本山裕子(聖人)	中学生	ソフトテニス	第31回九州地区中学校選抜ソフトテニス大会
	16	和田由佳(愛生)	中学生	水泳	第41回全九州スイミングクラブ春季水泳競技大会
	17	岩崎薫(愛生・瑞姫)	中学生	水泳	第41回全九州スイミングクラブ春季水泳競技大会
	18	ホルマン美子(妃菜子)	中学生	水泳	第41回全九州スイミングクラブ春季水泳競技大会
県大会	1	福島中軟式野球部	中学生	野球	第35回全日本少年軟式野球長崎県大会
	2	御厨少年ソフトボールクラブ	中学生	ソフトボール	第32回全日本小学生男子ソフトボール長崎県予選会
	3	星鹿少年ソフト	小学生	ソフトボール	第36回九州小学生名がs会見予選会
	4	松浦ジュニアバレーボールクラブ	小学生	バレー	平成30年度第38回全日本バレーボール小学生大会長崎県大会(男子の部)
	5	新星(法知)バレーボールクラブ	小学生	バレー	第41回長崎県小学生バレーボール大会
	6	青葉バレーボールクラブ	小学生	バレー	第41回長崎県小学生バレーボール大会
	7	志佐小女子ミニバスケッボールクラブ	小学生	ミニバスケッボールクラブ	第43回長崎県ミニバスケットボール選手権大会
	8	志佐小男子ミニバスケッボールクラブ	小学生	ミニバスケッボールクラブ	第43回長崎県ミニバスケットボール選手権大会

松浦市文化・スポーツ功労賞（松浦市スポーツ賞）受賞者一覧

年 度	氏名・団体名	大会名等	成績
平成29年度	太田 紗彩（志佐小6年）	とびうお杯第32回全国少年少女水泳大会「女子100mバタフライ競技」	優 勝
	太田 諒（佐世保北中2年）	第29回フィンスイミング日本選手権大会「男子100m・200MCMASビフイン競技ユース14歳～17歳」	優 勝
	吉浦 悠（志佐中2年）	平成29年度九州中学体育大会 第39回九州中学校陸上競技大会「2年男子 1500m競技」	優 勝
	野上 昂生（鹿町工業高2年）	平成29年度全国高等学校総合体育大会「ボクシング競技大会第71回全国高等学校ボクシング選手権大会」	3 位
	眞島 鎮馬（さわやかGGC所属）	平成28年度ながさき県民総スポーツ祭 第67回県民体育大会「グランド・ゴルフ競技 男子個人の部」	優 勝
	松浦少年野球クラブ	第46回長崎県少年軟式野球選手権大会（学童）大会	優 勝
	志在小学校女子ミニバスケットボールクラブ	第31回KTN杯争奪長崎県ミニバスケットボール選手権大会兼第38回全九州ミニバスケットボール選手権大会長崎県予選	優 勝
	里クラブ（グランド・ゴルフ）	平成29年度 第14回長崎ねんりんピック団体戦	優 勝
平成30年度	木谷 虎二郎（鷹島小6年）	日清食品カップ第34回全国小学生陸上競技交流大会長崎県予選 男子走幅跳競技	優 勝
	太田 紗彩（志佐中1年）	平成30年度長崎県中学校総合体育大会水泳競技 女子100m及び200mバタフライ競技の部 JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 女子11～12歳100mバタフライ競技 第50回西日本年齢別選手権水泳大会 女子13～14歳200mバタフライ競技 第50回九州ジュニア水泳競技大会 女子13～15歳200mバタフライ競技 第38回九州カップ水泳競技大会 女子11～12歳100mバタフライ競技・13～14歳200mバタフライ	優 勝
	熊本 小夏（鷹島中1年）	平成30年度第48回長崎県ジュニア陸上競技選手権大会 女子Bクラス走幅跳競技	優 勝
	岩崎 基晴（調川中1年）	平成30年度長崎県中学校総合体育大会水泳競技 男子100及び200m個人メドレー競技	優 勝
	下条 樹希（志佐中2年）	平成30年度長崎県中学校総合体育大会水泳競技 女子200m及び400m個人メドレー競技	優 勝
	坂本 千城（鷹島中2年）	平成30年度長崎県中学校陸上競技新人大会兼ジュニアオリンピック県代表選考会 男子Cクラス走幅跳競技	優 勝
	門 大喜（鷹島中3年）	平成30年度長崎県中体連陸上競技記録会 男子共通走幅跳競技	優 勝
	太田 諒（佐世保北中3年）	平成30年度長崎県中学校総合体育大会水泳競技大会 男子200m及び400m自由形競技	優 勝
	吉浦 悠（志佐中3年）	平成30年度長崎県中学校総合体育大会陸上競技 3年男子1500m競技 平成30年度九州中学校体育大会第40回九州中学校陸上競技大会	優 勝
	崎村 謙信（青島中3年）	平成30年度九州中学校体育大会第40回九州中学校陸上競技大会 共通男子砲丸投げ競技	優 勝
	植村 優人（松浦高校2年）	2018年度長崎県陸上選手権大会 男子5000m競技	優 勝
	扇 育（松浦高校3年）	第71回全国高等学校陸上競技選手権大会北九州地区予選会 男子5000m競技	2 位
	野上 昂生（鹿町工業高校3年）	平成29年度第49回全九州高等学校新人ボクシング競技大会 ミドル級競技 平成29年度全国高等学校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップ ミドル級競技	優 勝
	松浦少年野球クラブ	第40回長崎県スポーツ少年団軟式野球交流大会	優 勝
	志在中学校男子バスケットボール部	平成29年度第40回長崎県中学校バスケットボール競技新人大会兼九州中学校バスケットボール競技春季選手権予選	優 勝
	志在中学校男子ソフトテニス部	平成30年度第34回長崎県中学校ソフトテニス競技新人大会団体戦	優 勝
	松浦高校なぎなた部	第13回全国高等学校なぎなた選抜大会団体戦	3 位
	松浦高校陸上競技部	第70回長崎県高等学校駅伝競走大会	優 勝

令和元年度松浦市文化・スポーツ振興基金

区分	No.	申請者(選手名)	部門	種目	大会名
世界	1	太田信一郎(諒)	高校生	フィン	第16回フィンスイミングユース世界選手権大会
全国大会	1	太田信一郎(諒)	高校生	フィン	第31回フィンスイミング日本選手権大会
	2	豊川昌典(海音)	小学生	柔道	第39回全日本柔道大会
	3	小船恭央(円)	小学生	卓球	全農杯2019全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)
	4	松浦高校なぎなた部	高校生	なぎなた	第58回全国高等学校なぎなた選手権大会
	5	志佐中学校ソフトテニス部	中学生	ソフトテニス	第30回全日本ジュニアソフトテニス大会
	6	澤田州史(博史)	小学生	ソフトテニス	第36回全日本小学生ソフトテニス選手権大会
	7	山口裕史(莉真)	中学生	野球	第45回全日本選手権大会
	8	土井竜二(文太)	中学生	野球	第45回全日本選手権大会
	9	谷川英樹(維露)	中学生	野球	第19回全国中学生都道府県対抗野球大会in伊豆
	10	松浦高校陸上部	高校生	駅伝	令和元年度男子第70回全国高等学校駅伝競走大会
	11	太田信一郎(紗彩)	中学生	水泳	第36回コナミオープン水泳競技大会
	12	太田信一郎(真彩)	中学生	水泳	きららカップ2020
	13	岩崎薫(瑞姫)	中学生	水泳	きららカップ2020
	14	下條瞳(樹希)	中学生	水泳	きららカップ2020
	15	下條瞳(岬希)	小学生	水泳	きららカップ2020
	16	和田由佳(愛生)	小学生	水泳	きららカップ2020
九州大会	1	太田信一郎(諒)	高校生	水泳	第40回九州カップ水泳競技大会
	2	西村誠(龍臣)	小学生	柔道	第37回九州少年柔道大会
	3	小船恭央(円)	小学生	卓球	第24回全九州卓球選手権大会
	4	澤田州史(博史)	小学生	ソフトテニス	第24回九州小学生ソフトテニス選手権大会
	5	青葉バレーボールクラブ	小学生	バレー	第39回九州ブロックスポーツ少年団バレーボール大会
	6	佐々木浩通(豊川海音)	小学生	相撲	第32回全日本小学生相撲優勝大会九州ブロック予選会
	7	小船恭央(環)	小学生	卓球	第24回全九州卓球選手権大会
	8	板谷美保(音邑)	小学生	水泳	第51回九州ジュニア水泳競技大会
	9	桑下康博(龍牙)	中学生	野球	第35回日本少年野球九州大会
	10	丸山恵生(朝陽)	中学生	野球	第35回日本少年野球九州大会
	11	山下浩文(璃恭)	中学生	野球	第35回日本少年野球九州大会
	12	松浦美香(玄土)	中学生	野球	第35回日本少年野球九州大会
	13	太田信一郎(紗彩)	中学生	水泳	第40回九州カップ水泳競技大会

松浦市文化・スポーツ功労賞（松浦市スポーツ賞）受賞者一覧

年 度	氏名・団体名	大会名等	成績
令和元年度	小船 円（御厨小学校1年）	全農杯2019年全日本卓球選手権大会パンピの部において決勝トーナメントに進出	
	下条 呷希（志佐小学校6年）	第39回九州カップ水泳競技大会女子10歳以下50m平泳ぎ競技	2 位
	豊川 海音（福島養源小学校6年）	第29回長崎県少年相撲選手権大会6年生個人の部	優 勝
	澤田 博史（志佐小学校6年）	第36回長崎県小学生ソフトテニス春季選手権大会	優 勝
		第24回九州小学生ソフトテニス選手権大会	優 勝
	太田 紗彩（志佐中学校2年）	第10回アジアエージグループ選手権女子12歳～14歳50m及び200mバタフライ競技	3 位
	下条 樹希（志佐中学校3年）	令和元年度九州中学校体育大会第47回九州中学校水泳競技大会女子200m個人メドレー競技	2 位
	太田 諒（佐世保北高等学校1年）	第16回フィンスイミングユース世界選手権大会（エジプト：シャルムエルシェイク）男子100mCMAS及び男子200mCMASヒーフィン17歳以下競技	日本代表
	吉浦 悠（松浦高等学校1年）	第74回国民体育大会陸上競技長崎県予選会男子少年B3000m競技	優 勝
	亀野 晴俊（黒川クリーニング）	令和元年度第70回長崎県民体育大会陸上競技男子60歳以上5000m競技	優 勝
田中 一美	令和元年度第70回長崎県民体育大会グラウンド・ゴルフ男子個人の部	優 勝	

令和2年度松浦市文化・スポーツ振興基金

区分	No.	申請者(選手名)	部門	種目	大会名
全国大会	1	渡邊太志(航志)	小学生	サッカー	JFA 第44回全日本U-12サッカー選手権大会
	2	松永直樹(陽大)	高校生	バスケットボール	第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会
	3	玄海ボーズ:6名	中学生	野球	第51回記念日本少年野球春季全国大会(首都圏:3月26日~開催) ※申請予定
九州大会	1	渡邊太志(栞那・楓)	小学生	フットサル	KYFA 第17回九州女子フットサル選手権大会
	2	松下拓鶴(凜也)	中学生	野球	第11回九州ブロック1年生大会in鹿児島大会
	3	熊本誠(理人)	中学生	野球	第11回九州ブロック2年生大会in鹿児島大会
	4	松浦高校陸上部	高校生	駅伝	九州選抜高等学校駅伝競走大会(鹿児島県:3月14日開催) ※申請予定

令和2年度松浦市スポーツ賞 被表彰者一覧

- 1 小船 円：女（松浦市立御厨小学校2年：北松ジュニア所属）
・第18回全国ホープス選抜卓球大会（学年別）長崎県予選会「3年以下女子の部」において優勝。
- 2 益本 悠伸：男（松浦市立志佐小学校4年：タクファミ Jr 所属）
・第18回全国ホープス選抜卓球大会（学年別）長崎県予選会「4年以下男子の部」において優勝
- 3 武本 風希：男（松浦市立調川小学校6年：調川ランナーズクラブ所属）
・令和2年度第2回長崎県陸上競技記録会「男子小学5・6年100m」において優勝。
- 4 大山 美音：女（松浦市立御厨中学校1年）
・令和2年度長崎県中学校柔道競技新人大会「個人戦44kg級」において優勝。
- 5 岩崎 瑞姫：女（松浦市立調川中学校2年）
・第25回長崎県スプリント選手権大会「13-14歳女子50mバタフライ」において1位。
- 6 岩崎 基晴：男（松浦市立調川中学校3年）
・きららカップ2020「13-14歳男子100mバタフライ」において1位。
- 7 太田 紗彩：女（松浦市立志佐中学校3年）
・全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会高等学校・中学校47都道府県通信水泳競技大会「中学女子200mバタフライ」において3位。
- 8 下条 樹希：女（九州文化学園高等学校1年）
・長崎県選手権水泳大会「女子200m個人メドレー」において1位。
・長崎県選手権水泳大会「女子400m個人メドレー」において1位。
・令和2年度第55回長崎県高等学校新人体育大会水泳競技「女子200m自由形」において1位。
・第25回長崎県スプリント選手権大会「15歳以上女子50m背泳ぎ」において1位。

- 9 太田 諒：男（長崎県立佐世保北高等学校2年）
・長崎県選手権水泳大会「男子400m自由形」において1位。
・令和2年度第55回長崎県高等学校新人体育大会水泳競技「男子200m自由形」において1位。
- 10 吉浦 悠：男（長崎県立松浦高等学校2年）
・令和2年度長崎県陸上競技選手権「男子5000m」において優勝
- 11 井元 琴音：女
・第42回長崎県下女子剣道大会「個人一般女子の部」において優勝。
- 12 長崎県立松浦高等学校陸上競技部：監督：澤田 洋
吉浦 悠、小川 栄人、網本 佳悟
松尾 宥汰、戸田 颯人、瀧口 誠太・・・以上6選手
・令和2年度長崎県高等学校新人駅伝競走大会において優勝。

以上 個人：11名 団体：1団体